

## 報告2

# 認知症高齢者の行動・心理症状 の予防・軽減のための 効果的実践事例について

## 内容

1. 認知症の行動・心理症状とは
2. 認知症の行動・心理症状の理解と予防・軽減のための視点
3. 認知症の行動・心理症状の予防・軽減を目指した研究

聞き手:認知症介護の専門職を想定

## 1. 認知症の行動・心理症状とは

### 認知症とは

- 脳の障害によっておこる
- 認知機能が低下する
- 日常生活を自立して営めなくなる

\* 生きてきた経験を丸ごと忘れる×  
⇒一人の大人として、尊重される

## 中核症状により生活上の障害が生じる

### 中核症状

記憶障害、見当識障害、失認、失行、失語、注意機能障害、実行機能障害 など

中核症状



生活上の  
障害

生活障害: 認知症の人にみられ、それ故に個人的・社会的活動と社会的参加を困難にする

**日常生活上の障害** 朝田隆(2013)

## 生活上の障害の繰り返しがBPSDにつながる

短期  
記憶障害



認知症治療薬を飲んだことを忘れ、薬を頂戴という

不安・不快

BPSD

## 認知症の行動・心理症状とは

**BPSD: Behavioral Psychological Symptoms of Dementia**

心理症状	妄想、幻覚、抑うつ、不眠、不安、誤認
行動症状	身体的攻撃性、徘徊、不穏、焦燥、社会通念上不適当な行動と性的脱抑制、部屋の中を行ったり来たりする、喚声、泣き叫ぶ、ののしる、無気力、繰り返し尋ねる、シャドーイング

国際老年精神医学会「BPSD 痴呆の行動と心理症状」(2005)

- 問題行動 ×
- 認知症の人が、不快な環境に置かれているためにそのようにふるまってしまう

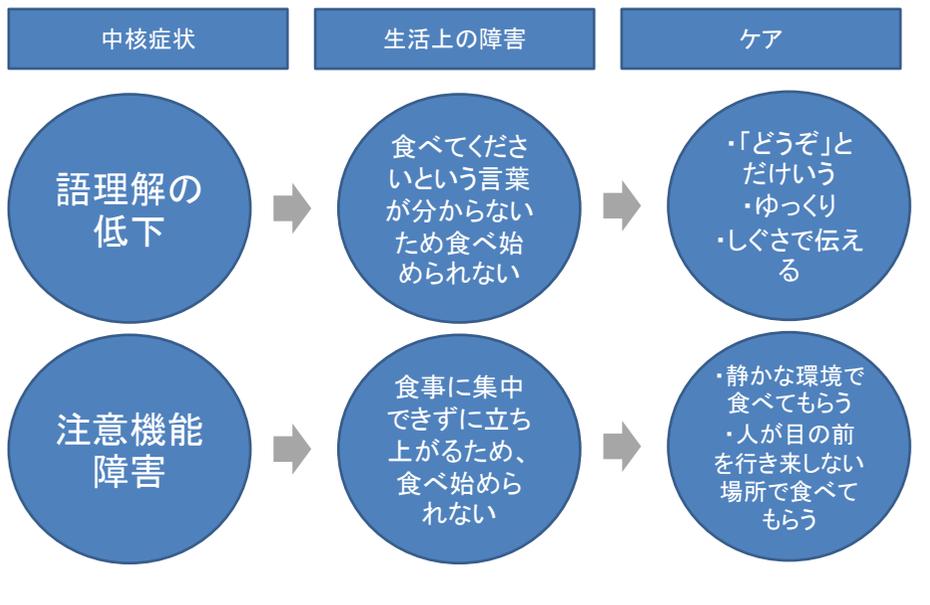
## 2. 認知症の行動・心理症状の理解と予防・軽減のための視点

## 認知症の中核症状

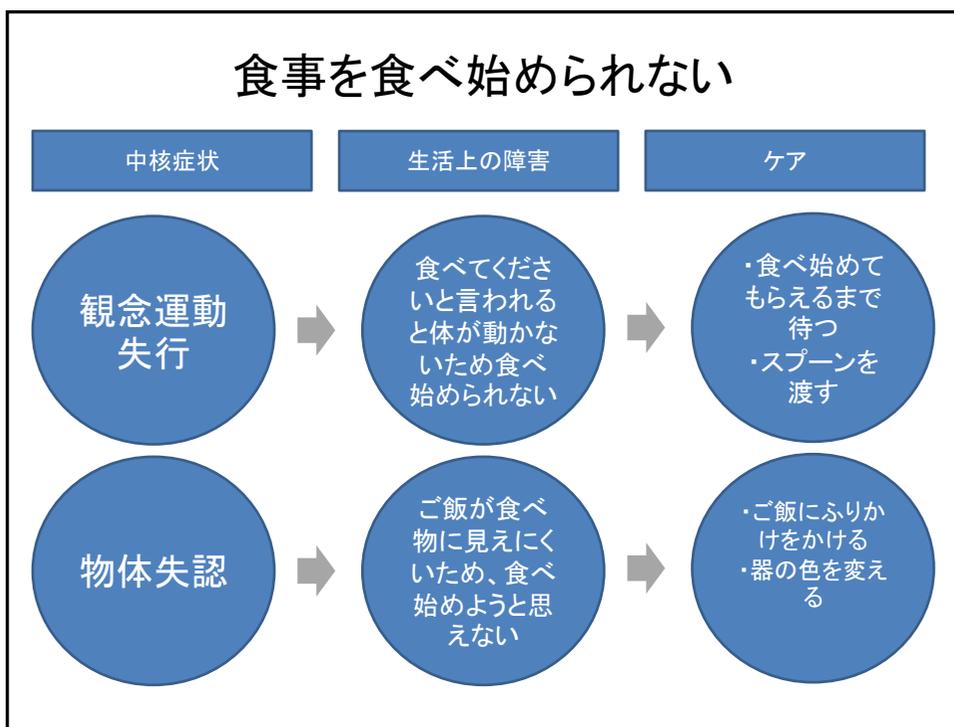
- 記憶障害
  - 即時記憶の障害、近時記憶の障害
  - エピソード記憶の障害など
- 見当識障害
  - 時間、場所、人物の見当識障害など
- 失語
  - 語想起、語理解の低下など
- 失行
  - 観念運動失行、観念失行など
- 失認
  - 視空間失認、街並み失認、相貌失認、半側空間無視など
- 注意機能障害
  - 持続性注意、選択性注意の障害など
- 実行機能障害
  - 目標設定、計画立案、目標に向かった行動、効果的な行動の障害など

程度はさまざまなので、どの程度できるかを知る

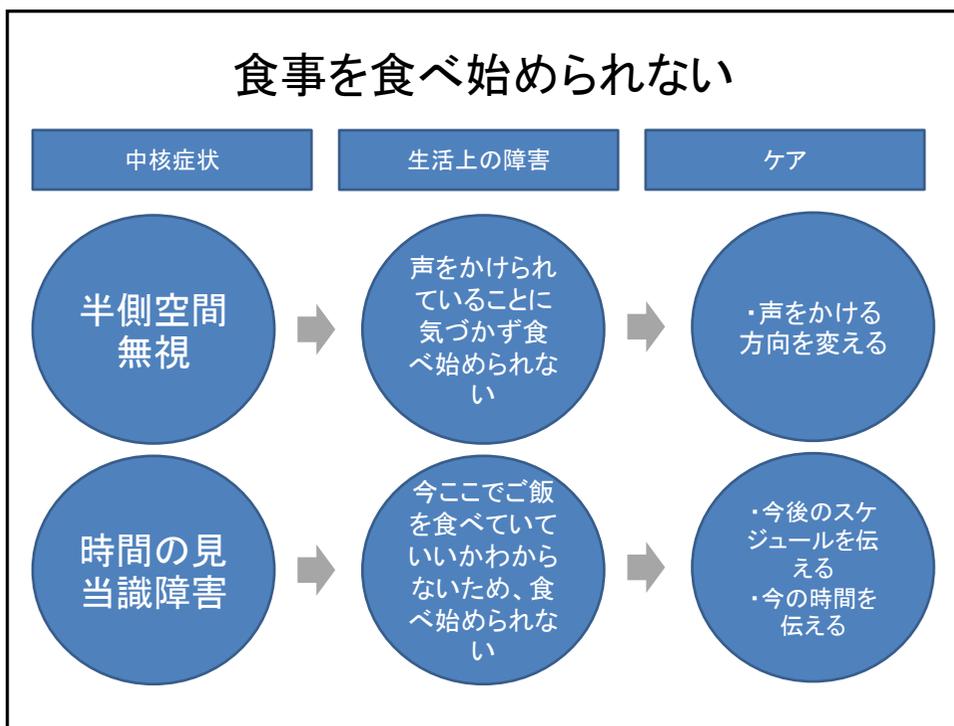
## 食事を食べ始められない



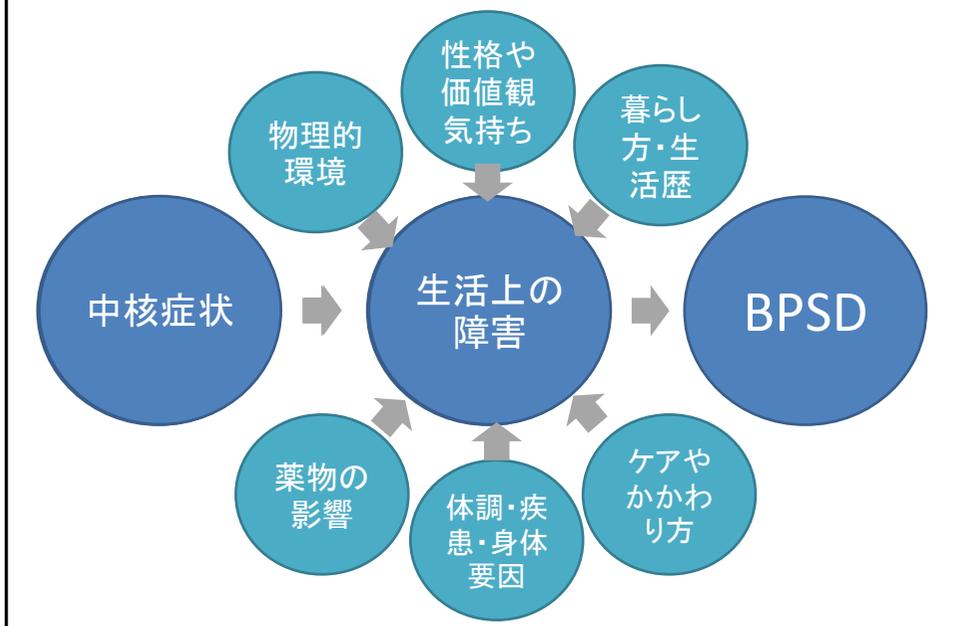
## 食事を食べ始められない



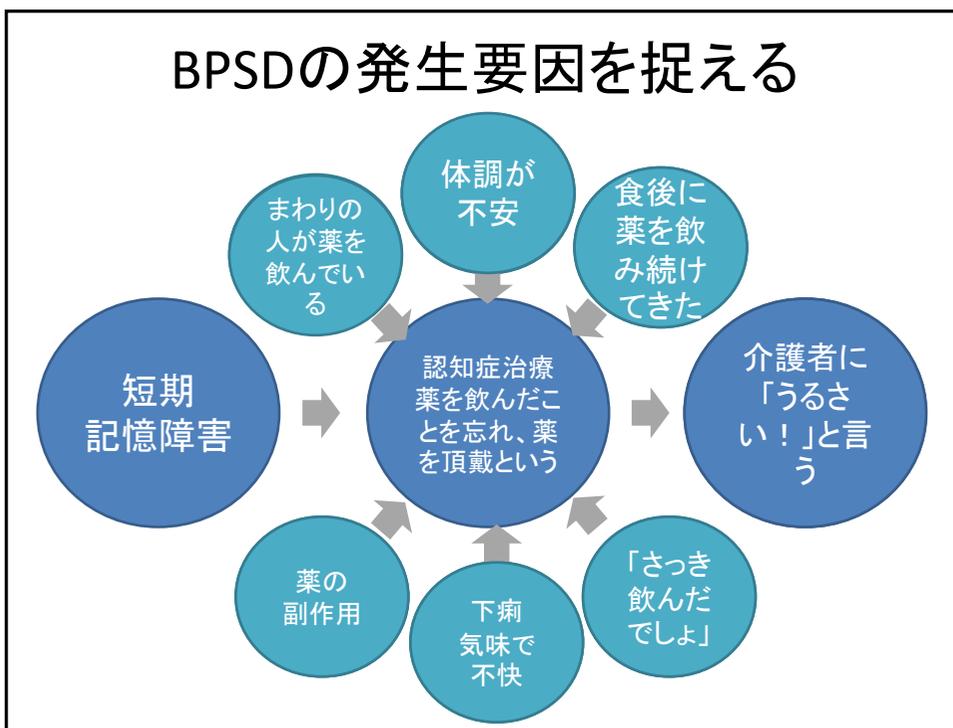
## 食事を食べ始められない



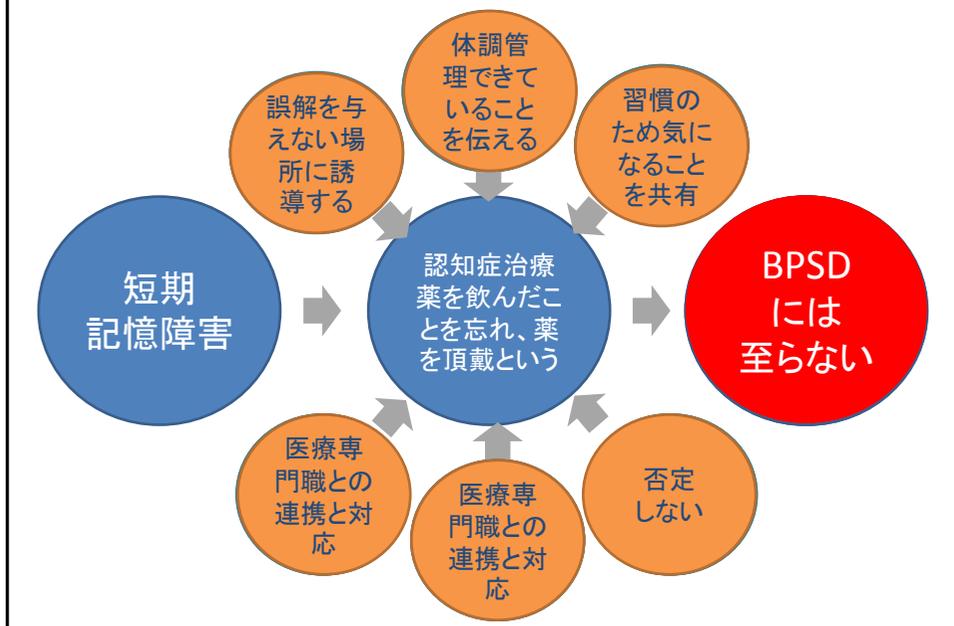
## BPSDの発生要因を捉える



## BPSDの発生要因を捉える



## BPSDの発生要因を捉える



- 身体や薬、物理的環境、スタッフや家族等のかかわり、本人の気持ちや価値観など、多面的に支援する
- 「薬をくださいという人にどう声かけすると納得してもらえますか？」といったコミュニケーションだけでは、軽減は難しい。  
→ケアマネジメント
- 認知症＝BPSDではなく、生活障害を適切にケアできていないと誰でもそうするであろう行動

## 話題の整理

- 中核症状を知っておくこと
- 中核症状があることによって、どのような生活上の障害が生じているか観察すること
- 中核症状により生じる生活上の障害をケアする視点を持つこと
- BPSDが発生している原因を、多面的に理解したケア
- 以上を踏まえBPSDに至らないような予防的なケア

BPSDの予防や軽減が最終ゴールか？

認知症の人の  
意欲を類推してケアする

## 困りごとの構造

(佐藤信人 2008)

〇〇で困る ← 〇〇したい : 〇〇できない

外に出て  
道に迷う

帰り道がわ  
からない

薬を飲んだ  
のにくださ  
いという

薬を飲んだ  
ことを覚え  
ておけない

## 困りごとの構造

(佐藤信人 2008)

〇〇で困る ← 〇〇したい : 〇〇できない

外に出て  
道に迷う

せんべいを  
食べたい

帰り道がわ  
からない

薬を飲んだ  
のにくださ  
いという

元気でいたい  
病気をコントロー  
ルしたい

薬を飲んだ  
ことを覚え  
ておけない

アセスメントを深め、意欲や価値観を類推する

- 「せんべいを食べたい」(本人より)

(ケア)せんべいを買ってきて渡した。

(結果)渡したが、食べてくれなかった。

認知症だから忘れるし、分からないんだろう

- 「せんべい屋に買いに行き行って食べたい？」(専門職)

(ケア)一緒にせんべい屋に買いに行った

(結果)せんべいをおいしそうに食べてくれた。

道中を楽しんでいたし、せんべい屋さんと話を楽しんでいた。そうしたことを含めて「せんべいを買いたい」のかもしれない。
- 「せんべいを買って食べる過程を楽しみたい」と理解できるのではないか

そういえば、最近は一人で過ごしていることが多いようだ。人との結びつきを求めているのかもしれない。

価値観の理解の深まり

### 認知症の人の心理的ニード(潜在的ニーズ)

愛

自分らしさ

共にある

結びつき

くつろぎ

たずさわり

認知症介護研究・研修大府センター編「DCM法(痴呆介護マッピング)導入に向けての準備事業報告書(2003)参照

## 認知症の人の意欲・意思を捉える

- 「人に会いたくない」

⇒人に会わないように配慮する△

⇒(認知症の)人は、他の人との「結びつき」を  
求めるはずなのに、どうして「人に会いたくない」  
とおっしゃるのだろう

## 認知症の人の意欲を類推してケアする

- あくまでも類推の範囲を出ない(わかった気  
にならず、理解しようとし続けることが大切)
- 認知症の人の理解について、チームで共有  
する

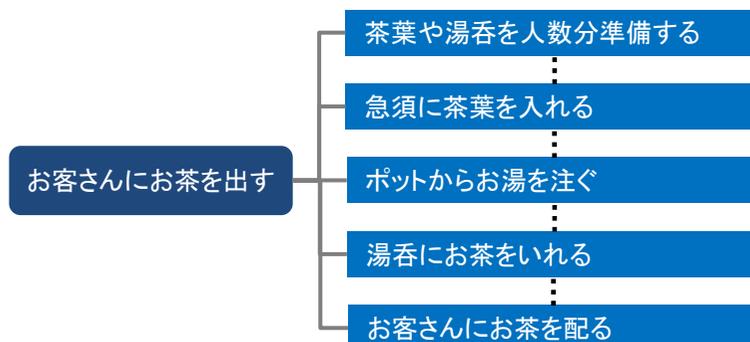
## 認知症の人の自立支援

当事者が自ら力を発揮すること

- 能力に応じた自立
  - クリスティーン・ブライデン氏  
私は誰になっていくの⇒私は私になっていく
  - 様々な場面での認知症の人からの発信

## 能力に応じた自立

- 生活行為を細かく分解してみる



- 認知症になってもできることはたくさんある
- ただし、できるから「させる」△

## 認知症の行動・心理症状の 予防・軽減を目指した研究

## 認知症の行動・心理症状の 予防・軽減を目指した研究

- 初めての認知症介護(仙台センター)
- エキスパートオピニオン(専門家の知見)による研究



認知症介護研究・研修仙台センター

## 認知症の行動・心理症状の 予防・軽減を目指した研究

●適時適切な医療・ケアを目指した、認知症の人等の全国的な情報登録・追跡を行う研究(研究代表者:国立長寿医療研究センター理事長鳥羽研二)

分担研究:認知症ケアの標準化に関する研究

### データベース(環境・状態・介入の時系列的蓄積によるビッグデータ)の構築

認知症の人がたどる経過(ケア情報も含む)



BPSDを予防する条件・ケアのエビデンス  
BPSDを軽減する条件・ケアのエビデンス

## 認知症ケア登録班の作業工程

平成27年度

- 認知症介護指導者を対象としたFeasibility study(実行可能性の確認)
- 家族教室での認知症ケア登録の調査
- 認知症カフェの実態と効果に関する調査
- 在宅の認知症高齢者のケアに関する情報の集積と活用について検討

→平成28年度～

- これまで得られたデータを基に登録項目の検討を行い、確定。→登録を開始する。

## 検討結果 登録の基本的考え方

- 登録の協力者への謝金等の支出が困難
- 環境、状態、介入を登録
- エンドポイント: DBD・QOL
- 軽度からターミナルまで幅広く登録
- 全体として詳細な項目設定で登録開始
- 認知症ケアのすべてを説明するのではなく、個別ケアの前提となる標準的なケアを明らかにする
- 施設・事業所管理者の同意⇒本人または代諾者(家族)の同意⇒登録作業を開始
- 認知症介護指導者による登録(精度を高めるため)  
⇒マニュアル等を整備しつつ登録者を拡大
- WEBシステムを構築しての全国での登録⇒DCnet内

31

## 認知症の行動・心理症状の 予防・軽減を目指した研究

- 認知症ちえのわネット  
(研究代表者:大阪大学大学院医学系研究科 精神医学分野  
講師 数井裕光)
- 登録した介護者(家族介護者・専門職)により  
ケア体験を集積

## まとめ

- 認知症の中核症状を知り、サポートする
- 身体や薬、物理的環境、スタッフや家族等のかかわり、本人の気持ちや価値観など、多面的に支援する
- 認知症の人の話をしっかり受け止めてケアすることと、本人が深いところで求めていることを類推すること両方を大切にする
- BPSDの軽減を目的にするのではなく、認知症の人がしたいことを実現できるように様々な条件を整える
- 認知症ケアのエビデンスを高めていくための研究を今後も認知症ケアの現場と連携しながら進めていくことが必要。

## 引用・参考文献等

- 国際老年精神医学会「BPSD 痴呆の行動と心理症状」(2005)アルタ出版
- 朝田隆「厚生労働科研費補助金認知症対策総合研究事業都市部における認知症有病率と認知症の生活機能障害への対応平成23年度～平成24年度総合研究報告書」(2013)p2
- 佐藤信人「ケアプラン作成の基本的考え方ー試論ノート」(2008)中央法規p80
- 認知症介護研究・研修大府センター編「DCM法(痴呆介護マッピング)導入に向けての準備事業報告書(2003)
- 日本神経学会監修 認知症疾患治療ガイドライン作成合同委員会編 「認知症疾患治療ガイドライン2010」 2010 医学書院
- 認知症介護研究・研修仙台センター「続・初めての認知症介護(徘徊・興奮暴力・帰宅願望編)解説集」(2013)
- 認知症ちえのわネット<https://orange.ist.osaka-u.ac.jp/greeting> (2016/8/30検索)